

CAP 制導入の根拠となったデータの公開について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年6月28日）

学生意見箱 2020年5月12日回答の「CAP制について」において、「履修科目を多く登録しても、十分な学修時間が確保できず成績が不合格になるケースがあることは、データ分析より明らかになっています。」

とあります。もちろん、そのようなケースはあると思いますが、履修制度変更の影響を受ける当事者は学生しかいないわけですから、今年度の入学生から30単位までというCAP制を導入するにあたって、どの程度の割合でそのようなケースがあるのかという、30単位までのCAP制導入を合理的に肯定するデータは、当の学生にも納得できる形で公表してほしいと思います。

本来ならば学生に直に影響する履修制度を変更する前には、データも参考にしながら当事者たる学生も含めた形で導入の是非やその詳細を十分議論してから、制度を導入するのが筋ではなかったのかなと個人的には思います。

もし公表はできないということであれば、その理由もお教え頂けたらと思います。

【回答】（回答日：2020年7月31日）

（回答者：教育推進・学生支援部）

CAP制の導入を検討する上で、履修単位数や単位修得数と成績との相関関係など、様々なデータ分析を教育IR等で行っており、相関関係についても分析しています。

分析データについては、各学部にはフィードバックしておりますが、データは広く公開することによる一般社会への影響を考慮して、非公開としています。